

# 新聞広告の活性化策

## 経営・石崎ゼミ3年次生が発表

# 新聞離れを防ぐアイデア



▲新聞の活性化について発表

大学生など若い世代に新聞の普及を考える初のイベント「イマドキの大学生×新聞」(日本新聞協会主催)が2月6日、東京大手町サンケイプラザで開催され、広告戦略をテーマとする経営学部・石崎ゼミ(石崎徹教授指導)の3年次生が独自の調査や分析により、新聞広告の活性化策と若者への新聞離れを防ぐアイデアを発表した。イベントには新聞関係者ら約200人が参加した。

イマドキの大学生×新聞 日本新聞協会主催

する一方、「同じように広告を学ぶ他大学の発表を聞くことで広告戦略を考える上での新たな発見がありました」と話していた。

石崎ゼミのほかの参加者は以下のとおり。敬称略。依田莉那、石崎篤佑、内田翼、別府菜々美、寺崎和弘、久野美幸、車谷利紗、豊田勇登、梅本啓汰、森本健太郎

2015年度の長期交換留学生及び交換留学奨学生(第一期)に3人が決まった。留学先と氏名・学部学年は次の通り(敬称略)。

●リヨン政治学院(フランス) 矢部静香(経営3) ●檀国大学(韓国) 野呂実香(文2) ●マルティン・ルター大学ハレ・ウィッテンベルク(ドイツ) 奥田真結子(院文博3)

▲大林守国際交流センター長と交換留学生の3人

▲矢野学長(前列右から3人目)に成果を報告したメンバーたち

23人に修了証 高大連携聴講生 2014年度高大連携聴講生の修了式が1月24日、サテライトキャンパスで行われた。坂本武憲副学長、吉田雅明高大連携協議会座長(経済学部教授)らが出席し、聴講生23人に修了証が交付された。

今年度は付属高校(専修大学附属高校)、専修大



▶石崎教授(右端)と出場ゼミ生

の調査や分析により、新聞広告の活性化策と若者への新聞離れを防ぐアイデアを発表した。イベントには新聞関係者ら約200人が参加した。

石崎ゼミからは2チームが発表。荻野由佳さんをリーダーとする6人は、新聞講義を大学の授業に取り入れることで若者に身近感を持たせたい。広告の活性化策としては、雑誌が展開する商品サンプルを新聞にもつけてみてはどうかと提案した。

荻野さんは「最後の講評では『大胆な発想だがロジックが荒い』と辛口の評でした。もう少し準備が必要でした」と反省

留学生の壮行 昼食会を開催 今春卒業予定の留学生の門出を祝う壮行昼食会が1月15日、生田キャンパスで開催された。出席した卒業年次留学

生13人を矢野建一学長、大林守国際交流センター長らが激励。教職員に加え、中国人留学生会、韓国人留学生会、国際交流会SHIPの在学生も駆けつけ、4年間の思い出を語り合った。

全国の12校24チーム(164人)が参加した「第27回EREミクロ・マクロ」第22回大学対抗戦(12月7日、全国15会場で実施)で、専修大学経済強化ハイレベルAチームが優勝を遂げた。専

大勢の優勝は初めて。ERE(経済学検定試験)は経済学の習得と応用力を判定する試験。メンバーは次の9人。

▽菅谷直紀さん(経済4) ▽塚本峻平さん(経済3) ▽宮本大輝さん(経済3) ▽矢部晃大さん(経済3)

専修人の新しい本 女子会のお作法 KENJI著

# 専大勢 初優勝

全国の12校24チーム(164人)が参加した「第27回EREミクロ・マクロ」第22回大学対抗戦(12月7日、全国15会場で実施)で、専修大学経済強化ハイレベルAチームが優勝を遂げた。専大勢の優勝は初めて。

女子会のお作法 KENJI著 年400回以上の女子会に参加し、「日本一女子会に呼ばれる社長」「汚プス研究者」としてテレビなどで活躍するKENJIさん(本名「荒井健治・平19経済」)の著書。

専修人の新しい本 女子会のお作法 KENJI著

専修人の新しい本 女子会のお作法 KENJI著

専修人の新しい本 女子会のお作法 KENJI著

叙勲受賞者 瑞宝双光章 八田和之氏(昭35商経)

選挙結果 市長 山梨県甲府市長 樋口雄一氏(昭58経営) 町長 北海道増毛町長 堀 雅志氏(昭52経営) 村田邦子氏(昭56文)

校友会からのお知らせ 秋田支部総会 4月5日(日)16時

校友会からのお知らせ 秋田支部総会 4月5日(日)16時